



研究部会報告

● 不確実性理論の経営科学への応用 ●

・第2回

日 時：6月11日(土) 13:00~16:30

出席者：12名

場 所：千葉大学理学系総合研究棟1階105室

テーマと講師：

(1)「クーポン収集問題と通信ネットワークとの関連性について：IPトレースバック方式の効率性評価」

塩田茂雄（千葉大学工学部）

概要：通信ネットワークにDoS AttackがあったときのIPトレースバックの一方法としてのマーキング方式について報告した。攻撃経路がただ一つの場合、攻撃経路の抽出に要するパケット数の分布関数及び期待値の式表示と、攻撃パス長の線形オーダーの計算量をもつ積分表示及び確率比較（順序）による上下評価式が与えられ、数値実験によって理論の有効性が検討された。

(2)「New Models for Shortest Path Problem」

岩村覚三（城西大学理学部）

概要：ノッド間の長さがファジイ変数で与えられている最短経路問題をノッド1からノッド n に至る経路の評価関数の違いによる3つのファジイモデルを提案している：(1)Credibilityを用いたChoquet積分による期待値最小化問題 (2)経路の総距離が所与の $\alpha(0 < \alpha < 1)$ 以上となる評価値の最小問題 (3)経路の総距離が所与の値以下であるCredibilityの最大問題。これらに対するアルゴリズムを提案し、数値実験によりその有効性を検討した。

● 評価のOR ●

・第11回

日 時：6月18日(土) 13:30~16:30

出席者：17名

場 所：政策研究大学院大学（港区六本木）

テーマと講師：

(1)「DEAを用いた携帯電話事業の自然独占性の測定」

高嶋裕一（岩手県立大学）、野口正人（情報通信総

合研究所）

概要：携帯電話事業の自然独占性の分析にDEAを活用する方法を整理し、規模の経済性、劣加法性（サイズ効率性）、範囲の経済性を計測し、その結果をほぼ同一のデータを計量経済学的に分析した野口（2004）の成果と比較を行った。

(2)「A three-stage approach to measuring the Japanese banking efficiency」

LIU Junming（政策研究大学院大学）

概要：日本の銀行の効率性を測定する為に、スラックを考慮したDEAであるSBMを用いた多段階法を提案した。環境の影響ならびにスラック上の統計的雑音を制御するために確率的フロンティア法を適用した結果、効率値の平均値特性が平滑化された。

(3)「Economies of scope and capacity utilization」

刀根 薫（政策研究大学院大学）

概要：特定商品（あるいはサービス）を生産する際に分業あるいは専業のどちらが有利かの「範囲の経済性」にDEAを適用する方法を説明した。又、大域的最大利益が、観測出力から可変入力コストをさし引いた現利益、技術非効率による損失、ならびに価格に基づく稼働率、非効率による損失、から構成されることを示した。

● 21世紀モノ造りマネジメント研究部会 ●

・第11回

日 時：5月27日(金) 13:00~16:00

出席者：27名

場 所：ローランドディー・ジー・株式会社（静岡県浜松市）

テーマと講師：

「ITを組立現場にフル活用した革新的生産方式「デジタル屋台」の紹介とその効果」

関 伸一（ローランドディー・ジー・株式会社）

概要：「デジタル屋台」のポイントは、3D-CADデータをはじめとした各種デジタルデータを活用し、初心者にも作業可能なわかりやすい生産指示をパソコン画面から与えること、また作業者の注意力に依存せずに各工程で高品質を造りこむこと等である。現地にて大型カラープリンタ等の生産現場の見学と、詳しい紹介があった。

・第13回

日 時：7月22日(金) 18:00~20:00

出席者：25名

場所：青山学院大学 青山キャンパス 総研ビル9階 第16会議室

テーマと講師：

「セル生産方式と Cellular Manufacturing の類似点・相違点に関する比較研究」

坂爪 裕 (慶應義塾大学)

概要：セル生産方式と Cellular Manufacturing の類似点・相違点について、1)導入時の変化内容、2)導入セルの特徴、3)導入の効果・副作用、4)効果・副作用の発生メカニズムという4点から、文献研究・事例研究を通して得られた結果の説明があった。

●意思決定とOR●

・第12回

日時：7月23日(土) 14:30~17:00

出席者：12名

場所：福井工業大学 F.U.T. タワー 15階 多目的会議室

テーマと講師：

(1)「会計ビックバンとその経済的帰結」

西海 学 (福井工業大学工学部)

概要：1997年以降、多くの会計基準の新設、改訂が行われてきたが、その数と質より「会計ビックバン」と称されている。会計基準の変更が、実際に企業そして経済社会に影響を与えたか、数々の実証分析と社会の動きを下に明らかにし、さらに近年問題になっている企業結合会計における国際的調和化について、実証分析により考察した。

(2)「企業規模から導かれる高所得企業のベキ指数」

石川 温 (金沢学院大学経営情報学部)

概要：2002年と2003年の日本企業の利益データにて、詳細釣合則とGibrat則からPareto則とPareto指数が導出できること、高額利益企業を業種別に分類して大規模業種より小規模業種に属する企業の方が成長確率が大きいこと、小規模業種より大規模業種のPareto指数の方が小さいことを見出した。

新刊ご案内

好評発売中！

Excelによる経営科学

—CD-ROM付—

大野勝久・玉置光司 他著/A5判/定価2,835円

経営視点で学ぶ

グローバルSCM時代の在庫理論

—カップリングポイント在庫計画理論—

光國光七郎 著/A5判/予価2,500円(10月刊)

戦略と競争分析

—ビジネスの競争分析方法とテクニック—

菅澤喜男 監訳/B5判/定価6,825円

近代品質管理

野村重信・福田康明 他著/A5判/定価2,520円

モダン信頼性工学

—リスクの数値化と概念化—

熊本博光 著/A5判/定価2,520円

技術者のための

現代経営戦略の方法

—バランススコアカードを中心として—

大内 東・高谷敏彦 他著/A5判/定価2,310円

ビジネスプロセスの

モデリングと設計

〈情報・技術経営シリーズ 9〉

小林 隆 著/A5判/定価2,625円

ビジネス情報システム

〈情報・技術経営シリーズ 10〉

薦田憲久・水野浩孝 他著/A5判/定価2,625円

(定価は税込です)

科学技術と共に歩む



株式会社

コロナ社

〒112-0011 東京都文京区千石4-46-10 振替00140-8-14844
TEL (03)3941-3131 (代), -3132, -3133 (営業部直通)
http://www.coronasha.co.jp FAX (03)3941-3137
E-mail eigyo@coronasha.co.jp